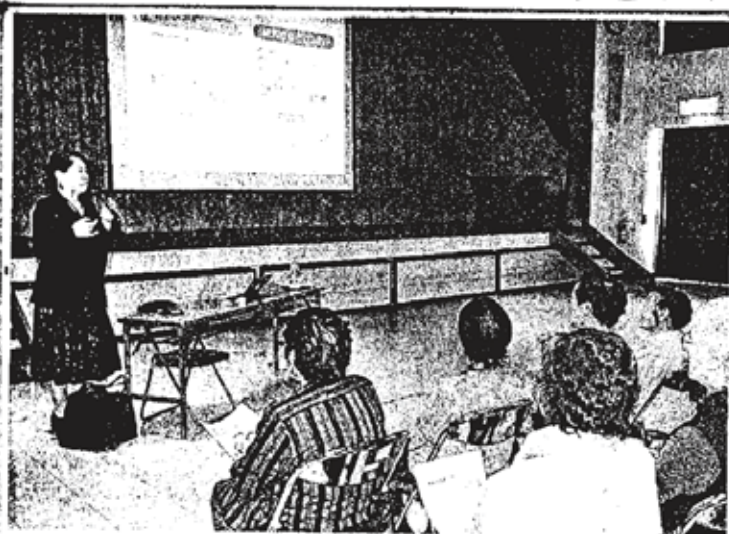




もの忘れを自覚したら早めに受診するよう呼び掛ける竹内診療部長

十和田市立中央病院

十和田

「もの忘れ」早め受診を

中央病院・竹内部長が講演

メンタルヘルス科の竹内淳子診療部長が5月27日、同市南公民館で認知症をテーマに講演、お年寄りらに「もの忘れ」を自覚したら早期に病院で受診するよう呼び掛けた。

同科は2009年10月からもの忘れ外来を設置するなど、認知症治療の中核となる県の認知症疾患医療センター指定を目指して活動に力を入れている。

竹内診療部長は、老化によるもの忘れと認知症の記憶障害の違いを説明。認知症にも夕

イブがあり、介護の大変さや薬が異なることを紹介した。

もの忘れ外来を受診する患者の傾向として「認知症が中等度以上

に進行した人が多数。

病気だと知らないままだと家族仲が悪くなつたり、本人のプライドが傷ついたりする」と述べ、「もの忘れが心配

になったら、恥ずかしがらずにもの忘れ外来を受診してほしい」と呼び掛けた。講演にはお年寄りら約70人が参

加した。（小橋徹）

（小橋徹）